

自己評価総括表（児童発達支援・放課後等デイサービス共通）

◆ 事業所名	ティノシーズ			
◆ 保護者評価実施期間	令和7年4月22日 ～ 令和7年5月20日			
◆ 保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数)	10名
◆ 従業者評価実施期間	令和7年4月17日 ～ 令和7年5月10日			
◆ 従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
◆ 事業者向け自己評価表作成日	令和7年6月19日			

◆ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取り組み等	さらに充実を図るための取り組み等
1	デイサービスを利用するこどものほとんどが併営する訪問看護ステーションを利用することもである。 このため訪問看護ステーションとの連携で、医療的ケア度の高いこどもの受け入れが可能となっている。	訪問看護担当者を通じて、医療的ケアをはじめとする支援に不可欠な情報を、保護者との間で共有できるようにしている。	訪問看護に帯同して訪問し、保護者との意見交換や相談支援を行っていく。 また、看護師以外の支援担当者が喀痰吸引等をできるよう本年中に体制整備を行う予定。
2	嘱託医が事業所の近くで開業しており、利用中のこどもに体調不良等ある場合はすぐ駆けつけてもらえる体制となっている。	嘱託医に感染症対策等医療に関連した研修を行ってもらっている。	嘱託医との間で、こどもの医療情報の共有を一層強化する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	全員参加の会議等を開催する時間が取れない。	専従スタッフが少なく、訪問看護ステーションと兼務するスタッフが多い。	主要会議は、専従スタッフと数名のコアメンバーにより行い、その他のスタッフの意見吸い上げや決定事項の伝達は、別途書面や朝礼の場で行う。
2	情報発信が乏しい。	少人数のスタッフで運営しているため、情報発信を専任で担当するスタッフを配置できない。	簡易な作業でHPやSNS等による情報発信ができるよう、手順を工夫する。 また、保護者との連絡ツールが充実したICTシステム導入を検討する。